

ジェトロ・ドバイ事務所
2023 年 3 月 10 日作成

UAE のファッション事情-アバヤ

<市場状況>

世界のイスラム人口は 2020 年、19 億人に到達。世界人口の約 25%を占める。¹イスラム教徒のファッションへの支出は、2020 年に 2,790 億米ドル、2021 年には 2,950 億米ドルになり、5.7%の増加、さらに、2022 年には 6.0% 増加して 3,130 億米ドル、2025 年には 4 年間の年平均成長率は 6.1% で推移し、3,750 億米ドルに達すると予想されている。

近年、モデストファッションが進化し、世界中の女性に受け入れられている。文化的、宗教的、または美的理由のいずれであろうと、モデストファッションの典型的なスタイルは多様で複雑であるが、露出度が低く、体の曲線を過度に強調しない衣服という点では共通する。モデストファッションは、もはやかつてのような小規模で専門的なニッチマーケットではなく、今や主流になりつつある。スタイルや自身の美学を犠牲にすることなく、自分の価値観に合ったファッションを供給できるブランドに期待が集まっている。そしてそれは、ソーシャルメディアに精通した若い消費者によって牽引されている。ファストファッションで有名なブランド「Zara」など他のブランドもイスラムファッション業界で支持されるスタイルを把握しており、同社の中東市場での商品戦略では、この地域で受け入れられるスタイルの品揃えを大幅に増やしている。²

アラブ首長国連邦 (UAE) の人口は、2022 年度 1008 万人に達し、自国民は約 11.5%、外国人が約 85.5%を占めている。人口構成比は以下となっている。

南アジア系 (インド・バングラデシュ・パキスタン・ネパール・スリランカなど) : 約 54%、フィリピン人 : 約 6%、イラン人 : 約 5%、エジプト人 : 4%、中国人 : 2%、その他 : 約 18%

人口の多い年齢層は 25-54 歳で 65%を占め、この年齢層の男女比は男性約 63.5%、女性 36.5%となっており、男性が圧倒的に多い。これは南アジア系の単身出稼ぎ労働者が多いためでもある。また、イスラム系人口も多く、人口の約 76%となっている。³

通常、イスラム教徒のほとんどの女性は公共の場で肌をあらわにした服装をすることを好まないが、宗教観・慣習・それぞれの出身国の文化にもよる。人口のほとんどを占める南アジア系のイスラム教徒の女性は民族風

¹ Religious composition by countries: <https://www.pewresearch.org/religion/interactives/religious-composition-by-country-2010-2050/>

² Why modest fashion is big business: <https://stylesage.co/blog/why-modest-fashion-is-big-business/>

³ UAE population statistics: <https://www.globalmediainsight.com/blog/uae-population-statistics/>

のスタイル、ファッションをしている人々が多く、UAE を含む湾岸の6カ国は黒やベージュなどシックな色のアバヤ（上着）や、頭を覆うアバヤにマッチした色のシャイラ（長方形のスカーフ状のもの）を着用している人々が多い。その他のアラビア語圏の人々は、アバヤは着用せず、西洋風ファッションが多い（ほとんどがパンツか長いスカート）。頭だけをスカーフで覆う人もいる。

以下、例を挙げる。

- A. 左からグレー・ベージュ・黒のアバヤ と同色のシャイラを着用。
- B. 袖口に白い刺繍・ビーズが付いている。
- C. 前あきのアバヤ。黒地で中に白いドレスを着用。アバヤのサイドに透け感のある素材を使用しているため、中に着ているドレスの色が見える。



A（写真：撮影筆者）



B（写真：着用者提供）



C（写真：着用者提供）

通常、中に着ているものが見えないように覆うものがアバヤであるが、最近は中に着ているものを見せる前あきタイプが流行している。中に着ているものは欧米風なものも多く、肌の露出を控えた、いわゆる、モデストファッション系で長いドレスやパンツが主流である。

UAE の一人当たりの購買力平価は、2021 年は 76,609 米ドル(日本は 42,140 米ドル)⁴と富裕層が多いというイメージを与えている市場ではあるが、UAE 人の労働力は限られており、宅配サービス・タクシーの運転手・飲食関連サービス・医療サービス・ハウスマイドなどの職業に携わる外国人労働者によって支えられているのが実情である。UAE 人の世帯平均年収は高く、236,210 米ドルで、職業は政府関連機関に勤める人々・企業の経営者などで、社会保障（医療・教育・住宅等）も充実している。UAE 人以外では民間企業や金融関連に勤めるマネージャークラス以上の人々の世帯平均年収は 91,932 米ドル となっている他、

⁴ World Bank: <https://data.worldbank.org/indicator/NY.GDP.PCAP.PP.CD?locations=AE>

集合世帯(台所や居間などの共同スペースをシェアする。)に暮らす人々の平均年収は 54,359 米ドル、また、建設労働の宿舎に居住する人の平均年収は 7,960 米ドルである。⁵

従って、収入によって、ファッションに消費できる金額に非常に差があるが、一般的に UAE 人は高所得で高額な物を購入でき、欧米系の高級ブランドを好むと言われている。アバヤも例外ではなく、高いものから、手ごろなものまで、生地グレードやデザイン装飾に使われるアクセサリ類でかなりの差がある様だ。

アバヤの素材は Nidha と呼ばれるポリエステル生地が使用され、実用的かつエレガントであるものが人気となっている。そのほかではクレープ、シフォン、ジョーゼット、サテン(絹)、麻・綿・ジャージーなどが使用されており、デザインにより、使用される装飾品(レース、クリスタルガラス、模造パール、刺繍、ネット)を選択する。ほとんどの店舗には既製服のアバヤがあり、試着して気に入れば購入、また丈の直しやデザインの変更など、顧客の要望に合わせて仕上げるという方法も取られている。

最近、カジュアルでスポーティー、しかもサステナブル素材(ペットボトルなどの再生繊維)を使用したアバヤやヒジャブを販売している UAE のブランドも存在しており、当初、オンライン販売だけであったが、若者たちからスポーティーカジュアルが好評となり、大手モールに出店している。

「The Giving Movement」

<https://thegivingmovement.com/collections/modest>

実際、アバヤは全身を覆うという役割から変化を遂げている。美しくエレガントでファッションブルなものから実用的でトレンドなジャンルにまで進化している。

高価なアバヤコレクションを発表している、ファッションデザイナーも、サステナブル素材を使用したアバヤをデザインし、ドバイのクリエイティブ関係者が多く集まるエリア、経済特区の D3 (Dubai Design District) に店舗を出している。

「Hessa Falasi」

<https://www.hessafalasi.com/>

そのほか、トレンドでモダンなアバヤが好評のデザイナーや、以下の他にもウェブサイトを持たずInstagram のみに掲載、フォロワー数の多い店もある。以下、トレンドとされるアバヤ・モデストファッションの例を挙げる。

「Nishida Shaheen」

<https://nishidashaheen.ae/>

「ANATOMI」

⁵ ジェトロエアレポート・アラブ首長国連邦:

https://www.jetro.go.jp/ext_images/_Reports/01/ac94f30a3fc238ee/20170031.pdf

<https://www.anatomiofficial.com/collections/ramadan-23>

「SLOUCHYZ」

<https://slouchyzmarket.com/slouchyz/>

前述のデモグラフィーを見ると、男女比率では特に女性用の商品に対する購買層が非常に小さく思える。しかし、UAE はコロナ前の 2019 年度には宿泊を伴う観光客が、約 1,673 万人もあり、2020 年・2021 年に激減したが、2022 年には 1436 万人まで回復している。⁶ この中には高所得層の多い湾岸諸国からの買い物客なども多く、女性客の多くが UAE のアバヤ専門店などで買い物をしていると言う。これらの客層に向けて、差別化を図るため、デザイナーたちは生地だけでなく様々な装飾品を探しているようだ。魅力的な装飾を見ると、インスパイアされて良いデザインが生まれると言う。そういった意味で、日本は「Kimono」だけではなく、コンテポラリーなデザインのアバヤに使用できるユニークな装飾となる様な素材や、アバヤに限らず、素敵なモデストファッションのアイデアを提案できると思う。また、UAE のハブ機能を念頭に、北アフリカのアラビア語圏等 18 カ国を視野に入れると、4.3 億人の市場に拡大される。⁷ 若者は SNS での情報で繋がっており、モデストファッション市場は大きく広がっていると言えよう。

<聞き取り調査>

● **Hanayen:** 高級モール「Dubai Mall」内の店舗を含め国内に 11 店舗、オマーンに 2 店舗展開。店舗のマネージャーへのインタビュー。

販売形態： 店舗およびオンライン販売。デザインと制作は別の場所で行っており、各店舗に配送される。店舗には既製品アバヤがあり、客の要望に合わせてサイズや装飾の直しなどを行う。使用される生地は、韓国、日本、イタリア、フランス製がメイン。アバヤの装飾品のレースはフランス、イタリア、韓国のものを使用、ビーズはインド、韓国、中国のものを使用。クリスタルガラスのスワロフスキー社は「Hanayen」ブランドに使用されているクリスタルガラスが 100%純正であるとの保証書を出している。

顧客： イスラム教徒の観光客、アフリカ、湾岸諸国の方々に、質の良いアバヤを求めている人。年齢は様々。

⁶ Tourism performance report: <https://www.dubaitourism.gov.ae/en/research-and-insights/tourism-performance-report-dec-2022>

⁷ GAFTA(大アラブ自由貿易地域): <https://www.worlddata.info/trade-agreements/gafta.php>

トレンド：若い世代では黒以外のアバヤが人気。スワロフスキーなどキラキラした装飾品を取り入れたものは、アフリカ系の人々に人気がある。結婚式やパーティーなどでも光る装飾が使われる。コロナ前は 2,000 AED 位のものが主流だったが、現在は、1,000~1,500 AED が売れ筋となっている（1AED=約 35 円）。

日本の商品について：日本の製品は質が良く、高級である。自分はデザイナーではないが、着物の刺繍などは魅力的に思う。会社が許可すれば、日本製品に可能性がないとは言えない。



店内の様子（手前はヒジャブ）
（上記写真：筆者撮影）



アバヤ



レースなどの装飾

● **MELANGE：**「Souk Al Bahar」（ドバイモールに隣接する、外観がアラビアスタイルのモールで観光客も多い。）や Jemeirah 地区（富裕な自国民居住者が多い地区）などに 3 店舗展開。Mrs. Swati オーナーである Mrs. Swati へのインタビュー。

販売形態：店舗販売。オンラインショップはない。Instagram に掲載した写真を送ってきてこれが欲しいと言ってオーダーする客がいる。オーナーがデザイナーでもあり自らデザインしたものを販売している。商品は比較的高価なものが多い、また、スペインなど海外の会社のもデザインも手がける。装飾品はインドで手作りされたものを持ってきて、仕上げはドバイの専用のテーラーで仕上げる。アバヤの他にショールやインド製の小物などを販売。大手企業のように大量生産はしない。デザインとしては西洋とインドをバランスよくミックスした独自のデザイン。

顧客層：サウジアラビア、カタール、クウェート人が多い。その他の外国人は少数だが、パーティーなどに着用するために購入する客もいる。客層は30代から上の年齢の女性が多い。商品が高価なものなので、その価値を理解して楽しむ顧客が多い。

トレンド：デザイナーのスタイルの特徴である東洋(インド)と西洋がミックスされたデザインのアバヤだが控えめな

デザインが主流。金額としては250–2000 AED前後の商品が売れ筋。

昔と違い民族調ではなく、西洋風でモダンなスタイルに変化してきているので、流行を取り入れたデザインも行ってみたいと思う。

日本の商品について：日本の着物の生地と刺繍にとっても興味はある。機会があればビジネスもしたい。特に着物とインドの装飾を交えた作品を作ってみたい。



綿・麻の素材に刺繍（左）・ゴールドコード（中）・人造パール（右）などの装飾があるものが多い
(上記写真：筆者撮影)

● **EFFA Boutique** : Jumeirah 地区（富裕な自国民居住者が多い）の小規模なモール「Town Center」内に出店。店員へのインタビュー。

販売形態：店舗およびオンライン販売。オーナーがデザイナーで、アバヤはアトリエで制作する方式をとっている。海外からのオーダーも受けて世界各国に発送する。日本製ではクレープ素材の生地を使用（ブランドは不明）。モDESTファッションの既製服をオンラインで販売している。

顧客層：18–50 代のムスリム女性が多いが、ムスリムでない客も多少いる。

トレンド：最近では光りものを使ったアバヤは流行していない。モダンなスタイルが好まれており、黒以外の色物のアバヤ、カジュアルなスタイルのものが人気。また、前あきで、丈も少し短め、靴が見える長さが好まれる。その理由としては、中に着ているものを見せるため。従来の隠すスタイルから見せるスタイルへと大きく変わってきている。この傾向は、若い女性だけではなく年配の女性も同様である。

日本の商品について：日本製は質がよく高級であるとのイメージがあり、ここで販売されているアバヤは日本の生地を使用しているので、品質が良いというイメージを客は持っている。デザイナーはオーナーなので、オーナーが気に入れば、日本製の装飾品も採用されると思う。



Effa Boutique 店舗外観（写真：筆者撮影）

*** Abaya Mall 内の店舗 2店-** このモールは民族衣装・アバヤと関連商品を専門としている小規模モールで小さな店舗が多く、ほとんどがウェブサイトやオンラインショップを持っておらず、インスタグラムでの宣伝やマーケティングなども行っていない。他のモールに比較して、非常に手頃感がある。店舗では南アジア系の男性の店員やフィリピン人女性が接客をしている。客層は様々で、湾岸諸国からの買い物客もいる。約、100 店舗ほど出店。



アバヤモール外観（写真：筆者撮影）



両側にアバヤ店舗が並ぶ（写真：筆者撮影）

● **LA CASA DE MODA** : モール内に 2 店舗。アジュマン（別の酋長国）にも店舗がある。販売員（女性）へのインタビュー。

販売形態：店舗販売のみ。販売しているアバヤは同じものを同モール内の 2 店舗でも販売。オンライン販売は

ない。制作場所はアジュマンとドバイにあり、専属のデザイナーとテーラーがいる。

取扱品：シャイラ（ヒジャブ）に日本製シフォンを使用。アバヤ生地などの日本製の扱いはない。

顧客層：18歳～50代、主にUAE人とUAEに在住するムスリム。

売れ筋：10代～20代には色物のアバヤが人気、50代以上には黒が好まれる。最近は前あきのオープンスタイルが人気。中に着る服とのコーディネートが重要になっている。上に着るアバヤとのマッチングやファッション性が以前より重視されてきている。200～500 AED位のもものが多く売れる。

日本の商品について：日本の製品は質が良いが、高いイメージ。スワロフスキーも非常に高いのでこの店舗では使用していないが、デザイナーが何を望んでいるかによる。

● **LIFE STYLE：**上記同様のモール内の店舗。販売員である Mr. Bashir へのインタビュー。

販売形態：店舗販売。オンライン販売はない。独自の工場で作成。従業員 15 人がそれぞれ専門の作業があり、型紙を作る・生地を切る・縫製する人などが決まっている。生地・素材などは一人のバイヤーが海外で買い付けるので、様々な製造国があると思うが、店ではどこのものかの判断が難しい。

顧客層：様々な国籍であるが、イスラム教徒が多い。

売れ筋：国によって、アバヤのスタイルが異なるが、サウジアラビア・バーレーン・UAE のスタイル（袖の形に違いがある。下記イメージ参照。）が人気。黒以外の色物のアバヤも人気だが、パーティー用には光る装飾がたくさんあるものが好まれる。価格的には 1 着 AED200～500 のものが多く買われている。

日本製について：日本製品は質が良いものが多い。デザイナーではないので、どのようなものがデザイナーにとって良いものなのかは分からないが、日本製は高いというイメージはある。



サウジアラビア（左・袖口にひかるビーズ） バーレーン（中・生地柄の上にビーズ刺繍） UAE(右刺繍)
(上記写真：筆者撮影)

以上

- 作成： ジェトロ・ドバイ事務所
- 執筆： GEN EVENTS LLC

[レポートの利用についての注意・免責事項]

本レポートは日本貿易振興機構（ジェトロ）ドバイ事務所が委託先 GEN EVENTS LLC に作成委託し、2023 年 2 月に入手した情報に基づき作成したものです。掲載した情報は作成委託先の判断によるものですが、一般的な情報・解釈がこのとおりであることを保証するものではありません。本レポートはあくまでも参考情報の提供を目的としており、提供した情報の正確性、完全性、目的適合性、最新性及び有用性の確認は、読者の責任と判断で行うものとし、ジェトロおよび GEN EVENTS LLC は一切の責任を負いません。これは、たとえジェトロおよび GEN EVENTS LLC が係る損害の可能性を知らされていても同様とします。

◆「海外発トレンドレポート」読後アンケートにご協力ください◆

本レポートは皆様の海外ビジネスにお役に立ちましたでしょうか？
今後の参考のため、[役立ち度アンケート](#)にご協力頂けましたら幸いです。

(所要時間：約1分)

